

年表と写真で振り返る 加納中の歴史



開校以前 旧加納中の沿革

加納中学校の歴史をさかのぼると、現桶川高等学校の建つ地に、旧加納中学校が存在していたと知ることができます。今では貴重となった、旧校舎の写真や最後の卒業式の様子もここで紹介します。

西暦 (和暦)

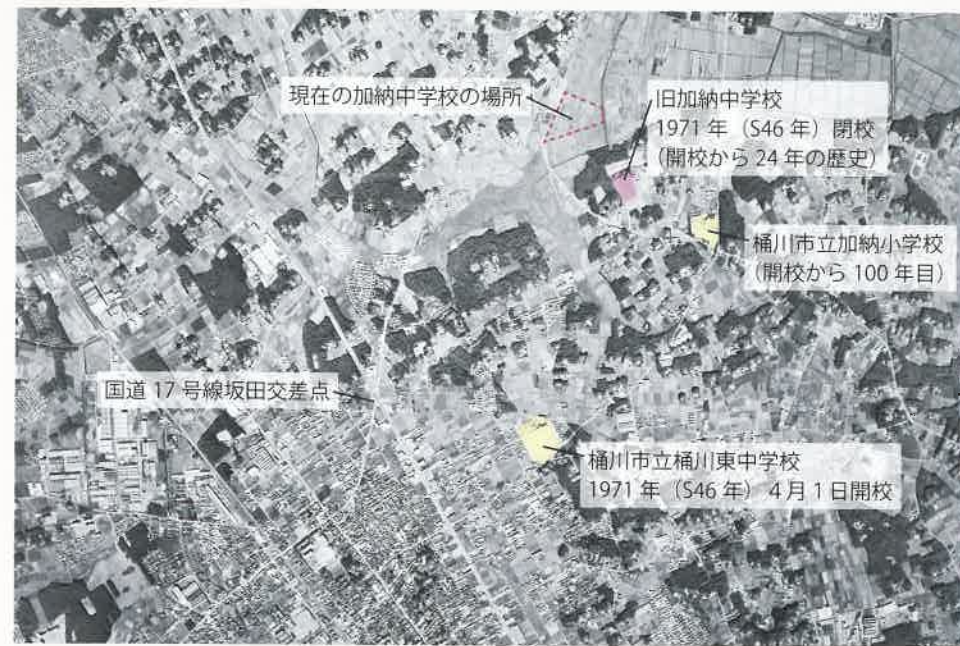
- 1947年 (昭和 22年) 4月1日
- 1949年 (昭和 24年) 4月6日
- 10月15日
- 1952年 (昭和 27年) 10月
- 1965年 (昭和 40年)
- 1971年 (昭和 46年) 3月15日

加納中の出来事

- **加納村立加納中学校開校**
現 桶川高等学校の地。入学式は加納小学校で行う。
- **校舎完成**
写真に残る木造校舎が完成する。
- **正門及び東門完成**
- **運動場拡張**
- **生徒数 245 人となる**
- **最後の卒業式**
卒業生 67 人が旧加納中学校より旅立ち、校名は桶川東中学校となる。



資料によると、桶川町立桶川中学校と、川田谷村立川田谷中学校も同時に開校している。写真で分かるように、校章のデザインが今とはまるで違っている。



1972年 (S47) 国土地理院空中写真

旧加納中学校閉校翌年の航空写真。当時はまだ桶川東中学校 (加納校舎) として使用されていた。現在の校舎の地は、まだ田畑の中。



1980年 (S55) 国土地理院空中写真 (枠内は建設現場の拡大写真)

加納中開校約半年前の航空写真。開校に向けた建設工事の様子がわかる。写真右上では上越新幹線 (1982年 (S57) 11月開業) の工事風景も見る事が出来る。左下ではおげがわ団地も整備されている。



校舎は木造。卒業生は先生を先頭に、温かい拍手で送りだされたのだろう。そして、旧加納中学校の歴史は幕を閉じた。